HINO CITY GUIDE

日野市市制施行 60 周年記念誌

日野市市制施行60周年

日野市勢要覧

令和５年（2023）11月発行

編集・発行
日野市企画部市長公室広報係

制作
株式会社けやき出版

漫画
特定非営利活動法人 LEGIKA
白瀬いとし

写真
井上博司

〒191-8686 日野市神明 1-12-1

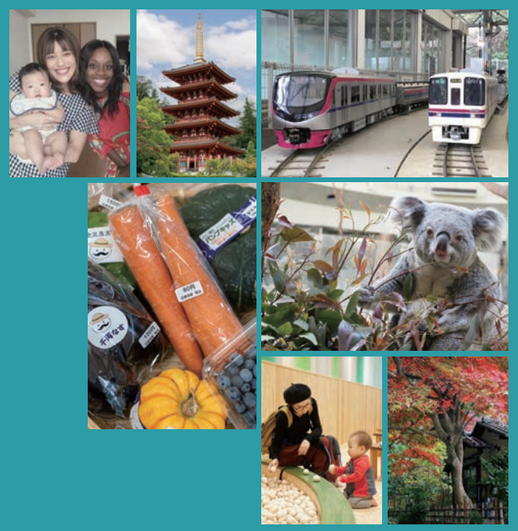
TEL 042-585-1111（代）
FAX 042-581-2516

私たちのまち、日野
日野市市制施行60周年

2023年11月3日、市制施行60周年を迎えた日野市。先人が積み重ねてきたまちの文化や歴史、仕組みを残しながら、市民の幅広いご支援のもと、まちづくりを進めてきました。東京でありながらなんかホッとするまち。本誌では、こう評されることの多い日野市の魅力を深掘りしていきます。

日野守

ひの・まもる
60 周年記念誌のナビゲーターとして日野市の魅力を紹介する、生まれも育ちも日野市の 37 歳。武家社会の最後を生きたラストサムライ「新選組」を愛し、誠の精神で地域の活動に積極的に参加中。暑苦しいほどの熱血漢ながら、優しい性格。



目次

4-5 市長と議長に聞きました。

6-7 日野、なんかいいね！

8-9 日野、なんか新選組 LOVE

10-11 日野、なんか盛り上げ上手

12-13 日野、なんかいつも前向き

14-15 日野、なんかのどか

16-17 日野、なんかのんびり遊べる

18-19 日野、なんか名所たくさん

20-21 日野、なんか子ども想い

22-23 日野、なんか見逃せない

24-25 日野地域未来ビジョン 2030
5 つの行動指針

26-29 市民 VOICE めぐり

30-31 日野のチャレンジ

市長と議長に聞きました。

WE LOVE HINO!!
誇りに思おう、日野のこと。
日野、なんか○○○○！

里山の緑、水の都、都心とのちょうどいい距離感、子育てのしやすさ……日野市にはさまざまな「いいね」があります。60周年とこれからの10年に向けて、市長と議長が考えていることは？

日野市LOVEなわけ

日野市在住のおふたり。日野市の魅力、誇りに思うところは？

市長　日野市の魅力ですよね？たくさんあると思います。まち歩きを楽しみながら少し足を延ばすと、緑豊かな丘陵が広がり、多摩川と浅川を水源とした用水が市内116キロに渡って張り巡らされ、暮らしのそばに豊かな自然があります。市内には高幡不動尊などの名所が点在し、神社や寺院が多い土地柄ということもあり、季節の移ろいを感じながら伝統的な祭り行事を楽しむこともできます。

議長　豊かな自然と歴史ある名所の数々……。日野市には、東京でありながらホッとできる場所が市内の至るところにありますね。人と自然の営みのバランスが取れているから、穏やかに暮らせるんだと思います。僕もそんなひとりです。電車に乗ると都心まで約30分でアクセスできる地の利の良さも、日野市の魅力だと思っています。

市長　地図を眺めると分かりますが、日野市は東京都のほぼ中央部に位置しているので、交通の利便性は高いと、私も思っています。中央線に乗ると新宿～日野は最速26分、京王線に乗ると新宿～高幡不動は最速28分、電車を利用すると都心までのアクセスは約30分で収まりますから。ここは声を大にして言いたい。市内に彩りさまざまに全12駅あるところも、日野市のPRパーソンのひとり、市長としてお伝えしておきたいです。

議長　JR中央線の停車駅、日野駅と豊田駅には日野市の商業拠点があり、京王線には高幡不動尊や百草園、平山城址公園、多摩動物公園などの観光スポットがあり、多摩都市モノレールも同じポテンシャルを多く有しています。

歴史の視点に立つと〝新選組ゆかりの地 日野〟もPRパーソンとして、話さないわけにはいきませんね。

市長　日野は新選組隊士の土方歳三と井上源三郎が生まれ育った「新選組のふるさと」と歴史ファンの多くから評され、子孫が運営する資料館や名主の佐藤彦五郎の屋敷（日野宿本陣）が今も残されています。新選組ゆかりの地として毎年5月に「ひの新選組まつり」が行われ、全国から新選組ファンが集まるまちでもあります。

議長　幕末の時代、新選組が掲げた「誠の心」をどんな風に解釈するのかは三者三様ですが、新選組の隊士たちは日野ゆかりの歴史的な偉人なので、幕末同様に時代の転換点ともいえる令和の今日にあって、彼らから学べる姿勢は多くあると思っています。姿勢ではなく市政かな。言うは易しなんですけれど、誠の心はいつも心がけるようにしています。

市長　WE LOVE HINO！こんな視点に立つと、新選組は日野市のまちづくりに欠かせない存在なのは間違いないですね。

SDGsと共に歩む

持続可能なまちづくり。こんな視点で考える、日野市の魅力は？

市長　現在、日野市はSDGsの未来都市に選ばれ、17のゴールの実現に向けてさまざまな取り組みをしている最中にあります。心身と社会的な健康を示すウェルビーイング（well-being）の視点で話すと、例えば日野市では旬な日野産農作物を学校給食で積極的に活用しています。

議長　お話のとおり、学校給食は全校自校調理方式を採用し、昭和58年から市内にある全25校で地産地消を心がけた取り組みを行ってきました。子育て世代に優しいまち。こんな風に表現できるまちでありたいですね。

市長　持続可能なまちづくりを進めていくためには、少子高齢化という背景を前提にしながら幅広い世代に目を向けることも大切です。「子どもが輝くまち」を掲げる日野市では、これまでさまざまな子育て支援を実施してきました。皆で手を取り合って一緒に成長する、そ世代を超えて日野市に関わるすべての方々と、未来の日野へ向かうための問いを分かちあい、共に考え続け〝タネ〟を育てあい、2030年の日野にたくさんの花を咲かせたいと、私たちは考えています。

市長　令和は予測不能の時代と言われています。2030年の日野市のあるべき姿を考え続け、日野市の良さや地域の個性を伸ばすまちづくりを目指していきましょう。

議長　安全安心な居場所づくりを掲げる放課後子ども教室「ひのっち」をはじめ、令和6年度当初にオープンする、すべての子どもの健やかな成長を切れ目なく支援する子ども・家庭・地域の子育て機能の総合支援拠点「（仮称）子ども包括支援センター・みらいく」など、今後もよりいっそう真心あふれる子育て支援を充実させていきたいですね。

市長　その関連でお話しするなら、日野市市制施行60周年に向けた市の取り組みの一つとして、シビックプライドの醸成を目指して市内小学生と保護者の皆さまに広くお声がけし、懇談会とワークショップを通じ、地域ごとにマップや映像を作ってもらいました。こういった活動を通じ日野市の過去から現在を知り、未来を考えるきっかけになったら幸いです。

議長　しあわせのタネを育てあう日野。こんなスローガンを掲げて始動した「日野地域未来ビジョン2030」も同じように、思いは一つですね。分野や立場、

日野市議会議長
古賀壮志

1977年生まれ、日野市出身。2006年、日野市議会議員当選を経て2022年3月より現職。趣味はスポーツ観戦とジョギング。

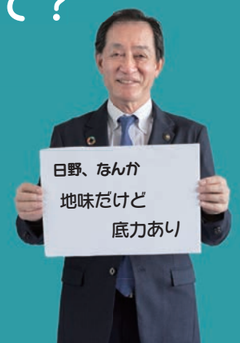
日野市長
大坪冬彦

1957年生まれ、東京都出身。日野市役所勤務を経て2013年4月より現職（3期）。趣味は読書とスポーツ観戦。

Q 2人の「日野、なんか…」って？

生まれも育ちも日野市。日野市の歴史をずっと見てきた古賀議長いわく、「日野は肩の力を抜いていつも自然体の自分でいられる場所なんです」。

日野駅や豊田駅周辺には都会的な賑わいもあり、豊かな自然もある。その両方を兼ね備えているのが「日野らしい魅力だと思います」と大坪市長。



住む

南平丘陵公園から豊田駅方面を望む

住んでよし、訪れてよし
穏やかに暮らせるまち

かつて“多摩の米蔵”と呼ばれ、田園が広がっていた日野市には、今でも市内の至るところに豊かな自然が残っています。住宅地の身近に、多摩川と浅川、市内を縦横に巡る用水などの清流、丘陵地、里山などの緑が共存しています。人と自然の営みのバランスが取れているので穏やかな暮らしを叶えてくれます。

買う

大型商業拠点に近くて便利
ショッピングも楽々スムーズ

日野市には、JR 中央線日野駅、豊田駅、京王線・多摩モノレール高幡不動駅の 3 駅に商業拠点があります。市内に均等に位置しているので、日常の買い物、飲食店の利用も楽々。立川や八王子などの大型商業拠点にも隣接しているので、家族一人ひとりのニーズに合わせたショッピングを楽しめます。

乗る

彩りさまざまに全 12 駅をラインナップ

見どころいっぱい

多摩都市モノレール

甲州街道（こうしゅうかいどう）
万願寺（まんがんじ）
高幡不動（たかはたふどう）
程久保（ほどくぼ）
多摩動物公園（たまどうぶつこうえん）

多摩地域の南北交通の確立を目指し、多摩センター駅から上北台駅まで約 16 キロを走る多摩都市モノレール。日野市にあるのは全 5 駅。日野市を代表する観光スポット、高幡不動や多摩動物公園を通り、万願寺駅は土方歳三の生家や墓所である石田寺への最寄駅として知られています。

京王動物園線

多摩動物公園（たまどうぶつこうえん）

高幡不動駅と多摩動物公園駅の 1 区間を結び、多摩動物公園駅を下車すると「京王あそびの森 HUGHUG」と「京王れーるランド」があります。

中央線

日　野（ひの）
豊　田（とよだ）

新宿駅や東京駅に直結する JR 中央線日野駅と豊田駅は日野市を代表する商業拠点で、豊田駅には大型商業施設があります。

京王線

百草園（もぐさえん）
高幡不動（たかはたふどう）
南　平（みなみだいら）
平山城址公園（ひらやまじょうしこうえん）

百草園や高幡不動、平山城址公園など、日野市を代表する観光スポットを通る京王線は、都心部へアクセスできることから市民の足として多くの人に利用されています。京王動物園線を含め、日野市にあるのは全 5 駅です。週末や祝日になると、どの駅も賑わいをみせます。

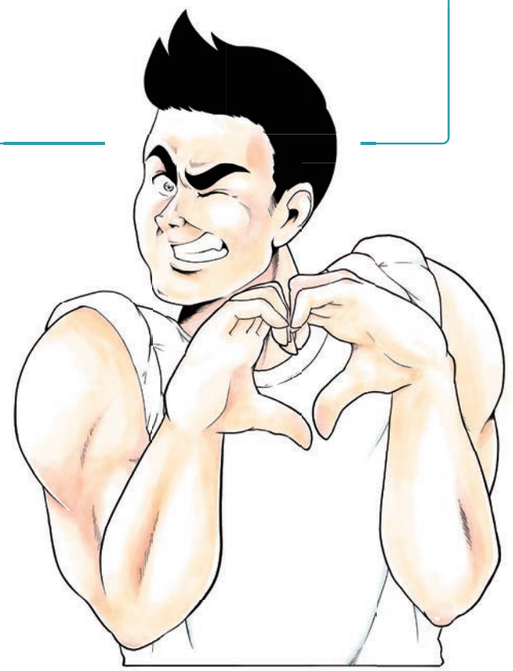
市の概要

日野、なんかいいね！

Sounds Good!

市民の声
- 都会だけど田んぼもある
- みんな優しい
- 駅がすごくあっていい
- 離れられないんだよね！

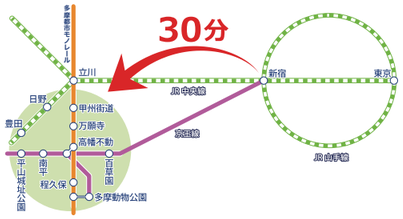
東京でありながら、なんかホッとするまち。
それがわれらのまち、日野市の魅力の一つです。
まずは日野市のプロフィールをお伝えしましょう！



プロフィール

都心から電車で約 30 分

東京都のほぼ中央部に位置する日野市はその地の利の良さから、都心へも山へも海へも快適にアクセスできます。JR 中央線に乗れば新宿～日野は最速で 26 分、京王線に乗れば新宿～高幡不動は最速で 28 分。電車を利用すると都心部まで約 30 分。市内には合計 12 の駅があり、市民ひとり当たりの駅数は多摩地域でトップクラスです。



日野市章

市制施行	昭和 38 年 11 月 3 日
人口	187,494 人（外国人住民 3,573 人含む）
世帯数	93,113 世帯 （外国人世帯 1,995 世帯、混合世帯 772 世帯含む）
面積	27.55 平方キロメートル （多摩地域 30 市町村中、9 番目の広さ）
隣接の市	八王子市、立川市、府中市、 昭島市、国立市、多摩市
姉妹都市	岩手県紫波町、レッドランズ市 （アメリカ・カリフォルニア州）
市の花	きく　昭和 48 年 11 月 3 日制定
市の木	かし　昭和 48 年 11 月 3 日制定
市の鳥	カワセミ　昭和 58 年 9 月 12 日制定

きく

カワセミ

かし

日野市の全体図

地域の個性はさまざま

※令和 5 年 6 月 1 日現在

新選組

日野、なんか新選組 LOVE

市民の声

新選組のまち！
源さん土方ふるさと
新選組のふるさとでかっこいい
はじまりの地

日野市には新選組に関する資料が多く現存し
史跡や資料館で見ることができます。
１日あればめぐれる？ 新選組ゆかりの地をご案内！

新選組ゆかりの地めぐり

甲州街道の宿場町として、江戸中期頃から甲州や信州と江戸をつなぐ江戸の人々の生活を支える流通の道として発展した日野宿。「日野宿本陣」は都内で唯一現存する本陣建築で東京都指定史跡に指定。大火で焼失したかつての母屋に代わり、元治元年（1864）に再建され、それ以来使用されてきた建物として知られています。

現在駐車場の場所にはかつて、日野の名主・佐藤彦五郎が開いた剣術道場があり、近藤勇や土方歳三、沖田総司、井上源三郎らが通い、天然理心流の稽古に励みました。

彼らは文久三年（1863）に上洛した後、新選組を結成し、幕末の京都で反幕府勢力を取り締まる治安維持活動に従事。池田屋事件などで武名を響かせ、やがて旧幕府軍の一員として戊辰戦争を戦うなかでその生涯を終えました。歴史ファンのみならず、新選組の生きざまは今も多くの人の心を惹きつけています。

新選組の中でも副長・土方歳三は石田村（現在の日野市石田）で生まれ育ち、姉が佐藤彦五郎の妻になったことから、義兄が開いた佐藤道場で剣術を学びました。京都での新選組結成後も、江戸に帰る途中には日野宿に立ち寄ったと伝えられています。

新選組六番隊隊長の井上源三郎も日野宿の出身で、八王子千人同心の家柄に生まれました。生家の井上源三郎資料館には天然理心流剣術免許、近藤勇が井上松五郎（源三郎の兄）に贈った名刀「大和守源秀國」などが展示されています。

土方歳三の菩提寺である高幡不動尊には、近藤勇・土方歳三両雄の顕彰碑や、歳三の銅像があり、新選組隊士慰霊の大位牌を納めた大日堂をはじめ、奥殿には新選組に関する資料を多く展示。新選組ファンに人気です。

新選組に関する数多くの資料や遺品が残り、新選組のふるさとと呼ばれる日野市。１日のんびり新選組ゆかりの地をめぐって、当時の息遣いを感じてみてはいかがでしょうか。

日野宿本陣

佐藤彦五郎により元治元年（1864）に再建された、都内に現存する唯一の本陣建物。東京都史跡・日野市指定有形文化財。

休館日　月曜、年末年始　　開館時間　9:30 ～ 17:00（入館は 16:30 まで）
入館料　大人 200 円、小人 50 円　　所在地　日野本町 2-15-9
TEL　042-583-5100

市内に数多くある新選組の関連施設とは？

佐藤彦五郎新選組資料館

幕末、最後の日野宿名主を務めた佐藤彦五郎が残した膨大な資料から新選組に関係するものを公開する資料館。

開館日　第１・第３日曜（平日は要相談）
開館時間　11:00 ～ 16:00
入館料　大人 500 円、小中学生 300 円
所在地　日野本町 2-15-5
TEL　042-581-0370

井上源三郎資料館

井上源三郎の生家にある資料館。二百数十点の歴史的資料、天然理心流剣術免許などを公開中。

開館日　第１・第３日曜（平日は要相談）
開館時間　12:00 ～ 16:00
入館料　大人 500 円、小中学生 300 円
所在地　日野本町 4-11-12
TEL　042-581-3957

新選組のふるさと歴史館

新選組が活躍した幕末に焦点を当てた歴史館。日野市新選組資料を集めた常設展のほか、企画展も多く開催。

休館日　月曜、年末年始
開館時間　9:30 ～ 17:00（入館は 16:30 まで）
入館料　大人 200 円、小人 50 円
所在地　神明 4-16-1
TEL　042-583-5100

ラストサムライ新選組にとって日野市は大切なふるさと

例大祭も大盛り上がり

宝泉寺

元徳年間（1329 ～ 1331）開山。宝泉寺墓地の奥まった所に新選組六番隊隊長・井上源三郎の墓、顕彰碑があり、墓前を参るファンの姿が絶えないことで知られる。持ち上げ観音、金丸四郎兵衛の墓などもある。

所在地　日野本町 3-6-9

八坂神社

かつて“牛頭天王社”と称された日野宿の鎮寺。精巧な彫刻が組み込まれた神社建築として市指定文化財でもある。近藤勇や沖田総司など天然理心流の門人らが奉納した剣術額が現存。

所在地　日野本町 3-14-12

大昌寺

文禄３年（1594）開山。新選組最大の支援者であり、明治 11 年（1878）に初代南多摩郡長になった佐藤彦五郎と妻ノブ（歳三の実姉）の墓所がある。寺内には日野宿の時の鐘などがある。

所在地　日野本町 2-12-13

石田寺

宗派は真言宗、高幡山金剛寺の末寺。５月 11 日は土方歳三が 35 年の生涯を閉じた命日。今も、５月第２日曜日に行われる「歳三忌」には、全国から歳三の追悼に訪れたファンが集まる。

所在地　石田 1-1-10

高幡不動尊

関東三大不動尊の一つで、古来より巨像日本一と伝えられた丈六不動三尊（重文）を祀る。平安期からの文化財を多く収蔵。境内に殉節両雄之碑・土方歳三の像、奥殿では歳三の手紙、幕末名士達の書軸等を展示中。

所在地　高幡 733

日野市のお祭り

神社や寺院が多い日野市には伝統的な祭り行事が多くある。なかでも関東の三大不動に数えられる高幡不動尊では年間を通じてさまざまな祭事が行われ、全国から多くの人が訪れる。ここでは主な祭り行事をご紹介！

5月
ひの新選組まつり（市内各所）
公民館まつり（中央公民館）

6月
みんなの遊・友ランド（市民の森ふれあいホール）
高幡不動尊あじさいまつり（高幡不動尊金剛寺）

8月
ひのアートフェスティバル（仲田の森蚕糸公園）

9月
ひのよさこい祭（豊田駅周辺）

ひのよさこい祭

10月
平山季重まつり（平山城址公園周辺）
まちづくり市民フェア（市民の森ふれあいホール、仲田の森蚕糸公園）
スポーツレクリエーションフェスティバル（日野市民陸上競技場）

11月
手をつなごう・こどもまつり
（市民の森ふれあいホール、仲田の森蚕糸公園）
たかはたもみじ灯路（高幡不動駅周辺）
日野市産業まつり（市民の森ふれあいホール）

たかはたもみじ灯路

日野市産業まつり

12月
たきび祭（旭が丘中央公園）

全国からファンが集うお祭り

日野市には「ひの新選組まつり」がある。年間を通してさまざまなお祭りが行われる日野市にあって、ひの新選組まつりは別格。

日野出身の新選組副長・土方歳三の命日（5月11日）に合わせ、全国から新選組ファンが訪れ、高幡不動尊や甲州街道、日野宿など、ゆかりのスポット周辺でさまざまなイベントを開催。新選組一色になります。

初回は平成10年（1998）、市制35周年と土方歳三没後130周年を記念し、日野市のまちおこしの一環としてスタート。令和5年（2023）は4年ぶりに「隊士パレード」が復活し、全国からの参加者が新選組隊士に扮し、勝関（かちどき）をあげながら市内を練り歩き日野市民をはじめ多くの来訪者が沿道で熱い声援を送りました。パレードの前日には、高幡不動尊境内の特設会場で土方歳三、近藤勇、沖田総司などの配役を決める「隊士コンテスト」も開催。「土方歳三の恋人・高幡不動きものクイーンコンテスト」も行われ、盛り上がりを見せました。

開催に合わせ、11カ所ある「屯所」をめぐり、各隊長の名前が入ったスタンプを集める「屯所めぐり」や、JR中央線日野駅や京王線高幡不動駅周辺の飲食店では「第26回ひの新選組まつり グルメMAP」を配布。日野市民をはじめ、多くの方のご協力で盛況のうちに幕を閉じました。

みんな真剣な表情

新選組ゆかりの地を練り歩く

新選組隊士になりきってまちを練り歩く「隊士パレード」が4年ぶりに復活。前日には、高幡不動尊境内の特設会場で隊士パレードの配役を決める「隊士コンテスト」を開催。

催し物

日野、なんか盛り上げ上手

神社や寺院が多い日野市には、お祭り行事が盛りだくさん。全国からたくさんの方が訪れ、日野市民とともにイベントを盛り上げてくれます。

市民の声

とっても楽しい！！
新選組まつりとかお祭り楽しすぎぃ！
Welcome感がハンパない！！
まちの楽しみは大人が全力で！！

歴史

日野、なんかいつも前向き

古くから多摩の要衝として栄えてきた日野。長い歴史をたどると、さまざまな日野の姿と出会えます！市制施行は昭和38年（1963）、日野市の歩みとは？

市民と共に歩んできた日野市の60年史

2023
- ・日野市地域防災計画（令和３年度修正）改定
- ・日野市立病院地域医療支援病院承認
- ・日野市財政再建計画・第６次行財政改革大綱実施計画策定
- ・百草台コミュニティセンター閉鎖
- ・日野市気候非常事態宣言
- ・「日野市スポーツ栄誉賞」を馬場咲希選手へ贈呈
- ・南平体育館がリニューアルオープン
- ・初の女性副市長に波戸尚子氏就任
- ・市税や証明書交付手数料などのキャッシュレス決済開始
- ・第２期日野市子どもの貧困対策に関する基本方針策定
- ・第４期「日野市食育推進計画」策定
- ・第二次日野市ユニバーサルデザインまちづくり推進計画を策定

2022
- ・市立八ケ岳高原大成荘廃止
- ・石田環境プラザ開設
- ・日野市財政再建方針第６次行財政改革大綱策定
- ・子ども家庭支援センターに母子保健部門を統合
- ・日野市×多摩市「たま学びテラス」構築広域連携事業を実施
- ・「日野市民スポーツ栄誉賞」創設、山崎悠麻選手へ贈呈
- ・「広報ひの」リニューアル、月刊化
- ・第４期「日野人げんき！プラン」策定
- ・第４次日野市男女平等行動計画策定
- ・ひの多文化共生プロジェクトのスタート
- ・まちと空き家の学校開始

- ・日野市立病院経営強化プラン策定
- ・日野地域未来ビジョン 2030 策定
- ・日野市すべての人の性別等が尊重され多様な生き方を認め合う条例施行
- ・多摩動物公園と「環境・SDGsに関するパートナーシップ協定」締結
- ・「第 26 回ひの新選組まつり」隊士パレード復活
- ・日野市気候市民会議を開催
- ・「パラバドミントンサポートシティに係る覚書」締結

▲日野市気候市民会議

2021
- ・第２期日野市国民健康保険データヘルス計画策定
- ・旭が丘地区センターがリニューアルオープン
- ・ひの生きものプラン～日野市生物多様性地域戦略～策定
- ・日野市ホームページをリニューアル
- ・オリジナル婚姻届配布
- ・国保財政健全化計画（赤字削減・解消計画）策定
- ・日野市立病院東京都周産期連携病院認定
- ・公契約条例施行
- ・虹友カフェ開始
- ・日野産大麦 100%使用「PREMIUM TOYODA BEER」完成

2020
- ・プラスチック類ごみ分別開始（第二次ごみ改革）
- ・浅川清流環境組合可燃ごみ処理施設稼働開始
- ・プラスチック類資源化施設稼働開始
- ・日野市プラスチック・スマート宣言
- ・市として３度目となる財政非常事態宣言発出
- ・日野市商業振興条例策定
- ・（仮称）子ども包括支援センター基本計画策定
- ・日野市 LINE 公式アカウント正式稼働
- ・第４期日野市地域福祉計画策定
- ・日野市障害者差別解消推進条例施行
- ・緊急事態宣言による特措法コロナウイルス感染症対策本部

2019
- ・日野市空き住宅等の適切な管理及び活用に関する条例施行
- ・日野市立病院改革プラン策定
- ・日野市障害者差別解消基本方針策定
- ・カワセミハウスオープン
- ・岩手県紫波町と日野市が姉妹都市盟約締結
- ・東京南農業協同組合の農産物直売所「ファーマーズ　マーケット東京　みなみの恵み」万願寺に開設
- ・日野市立病院病理診断科、病理診断室、診療情報センター、地域医療健康センター設置
- ・日野市子どもの貧困対策に関する基本方針策定
- ・旧農林省蚕糸試験場日野桑園第一蚕室が国登録有形文化財（建築物）登録

▲第 68 回国民体育大会（ボクシング）

2018
- ・立川市・国立市と図書館の相互利用を開始
- ・東京 2020 オリンピック・パラリンピックに向け、ウクライナのホストタウンとして登録
- ・「絶対に人に見せてはいけない職員手帳」制作
- ・日野市自殺総合対策基本計画【改訂版】策定
- ・SDGs 未来都市に選定
- ・イオンモール多摩平の森にて期日前投票所開設
- ・台風第 19 号襲来（日野橋破損）
- ・日野市まちづくりマスタープラン改定
- ・日野市地域公共交通総合連携計画改定

◀絶対に人に見せてはいけない職員手帳

2017
- ・豊田南地区センター開設
- ・四ツ谷下東地区センター開設
- ・浅川清流環境組合設立
- ・日野市多摩平の森産業連携センター（PlanT）開設
- ・子育て情報サイト「ぽけっとなび」スタート
- ・日野市立病院臨床研修センター設置
- ・日野市障害者生活・就労支援センター「にこわーく」開設
- ・福祉の初期総合相談窓口開設
- ・産婦・新生児訪問指導事業及び産前産後ケア事業開始
- ・「TOYODA BEER」復刻、販売

2016
- ・日野市立病院東京都災害拠点病院認定
- ・日野市発達・教育支援センター「エール」開設
- ・むこうじま保育園の開設で、日野市初の公立園から民間保育園への運営を引き継ぐ民営化を実施
- ・「広報ひの」の誌面刷新
- ・日野市立病院日本DMAT隊（災害派遣医療チーム）結成
- ・国民健康保険、医療レセプト情報の分析を委託により開始

▲日野市発達・教育支援センター「エール」

2015
- ・日野市アクションプラン始動
- ・東宮下地区センター開設
- ・第１回浅川アユまつり開催
- ・日野市立病院救急科正式標榜
- ・日野市立病院災害対策室設置
- ・母子健康手帳の交付に併せた出産・子育て応援事業開始
- ・日野市長イクボス宣言

2014

2013
- ・市民の森ふれあいホール開館
- ・七ツ塚ファーマーズセンター開設

2012
- ・第 16 回ひの新選組まつり初の甲州街道全面通行止めでパレード
- ・第 68 回国民体育大会（スポーツ祭東京 2013）日野市内は空手・ボクシング・ホッケー※ボクシングでは行幸啓あり
- ・小島善太郎記念館開設
- ・平和首長会議加盟

2011

2010

2009

2008

2007

2006

2005

2004

2003

2002

2001

2000
- ＜ 2000 年＞
- ・多摩都市モノレール全線開通
- ・ゴミ収集用ボックス廃止、戸別収集制に変更
- ＜ 2001 年＞
- ・第４次基本構想策定
- ・日野市ファミリーサポートセンター開設
- ・日野市男女平等基本条例制定
- ＜ 2002 年＞
- ・新日野市立病院開設
- ・一番橋新設開通
- ＜ 2003 年＞
- ・石田大橋開通
- ＜ 2004 年＞
- ・「新選組フェスタ in 日野」開催
- ・多摩平の森ふれあい館開設
- ＜ 2006 年＞
- ・日野市清流保全 - 湧水・地下水の回復と河川・用水の保全 - に関する条例施行
- ・日野市まちづくり条例施行
- ＜ 2007 年＞
- ・国道 20 号日野バイパス全線開通
- ・第３次日野市行財政改革大綱実施計画策定
- ＜ 2008 年＞
- ・子ども家庭支援センター開設
- ・平山季重ふれあい館開設
- ・セーフティネットコールセンター開設
- ＜ 2009 年＞
- ・日野市ユニバーサルデザイン推進条例施行
- ＜ 2010 年＞
- ・豊田駅の発車メロディーが童謡「たきび」に

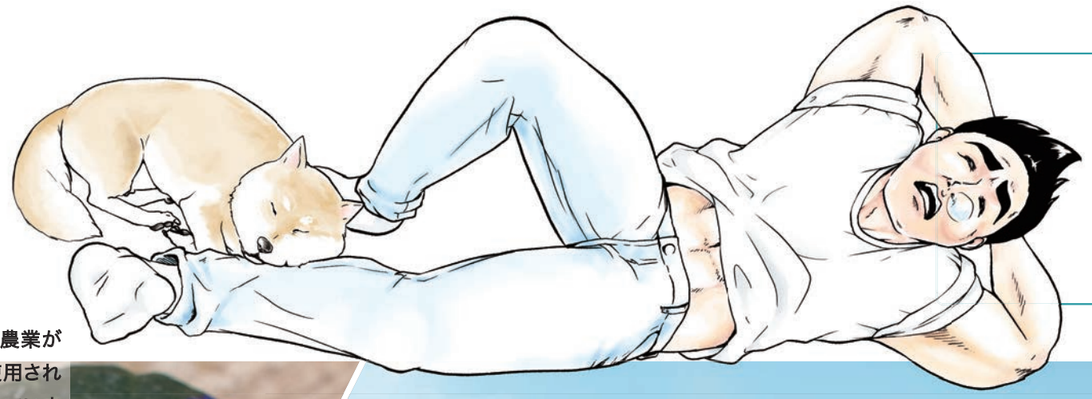
1990
- ＜ 1990 年＞
- ・多摩川の河床からゾウのキバ化石が発見される
- ＜ 1991 年＞
- ・駒形の渡しでスギ製の「日野かわせみ号」進水式
- ・万願寺歩道橋（愛称ふれあい橋）開通
- ＜ 1992 年＞
- ・浅川スポーツ公園完成
- ＜ 1994 年＞
- ・日野市市民参加の推進に関する要綱制定施行
- ・日野市・多摩市・稲城市を管轄する日野税務署開設
- ＜ 1995 年＞
- ・国土庁より日野市が「水の郷」に選出
- ・日野市環境基本条例制定
- ・第三次基本構想策定
- ＜ 1996 年＞
- ・ひの男女平等社会推進プラン策定
- ＜ 1998 年＞
- ・日野市農業基本条例制定
- ・男女共同参画都市宣言採択
- ・市制施行 35 周年記念事業「新選組 in 日野」開催
- ・府中四谷橋開通
- ＜ 1999 年＞
- ・ひの市民大学開校

1980
- ＜ 1980 年＞
- ・都立日野台高校開校
- ・駒形の渡し舟開設（夏季）
- ・日野中央公園開園
- ・高幡不動尊金剛寺五重塔が完成
- ＜ 1982 年＞
- ・日野市老人憲章制定
- ＜ 1983 年＞
- ・日野市歌制定
- ・市の鳥（カワセミ）制定
- ・日野市民憲章制定
- ＜ 1984 年＞
- ・日野駅 - 市役所 - 豊田駅間のバス路線開通
- ・コアラ多摩動物公園に来る
- ＜ 1985 年＞
- ・市民会館開館
- ・都立南平高校開校
- ＜ 1986 年＞
- ・都立科学技術大学（現東京都立大学）開校
- ・実践女子大学・大学院・短期大学の日野校地移転完了
- ＜ 1987 年＞
- ・市民の森スポーツ公園開園
- ＜ 1988 年＞
- ・金剛寺不動明王像などが東京都指定文化財となる
- ・日野市基本計画策定
- ＜ 1989 年＞
- ・立日橋開通
- ・ふるさと博物館開館

1970
- ＜ 1971 年＞
- ・ヒノクジラの化石発見
- ・第一次基本構想策定
- ＜ 1972 年＞
- ・日野消防署が日野市神明に移転
- ＜ 1973 年＞
- ・市立中央図書館開館
- ・市の木（かし）制定
- ・市の花（きく）制定
- ＜ 1976 年＞
- ・清流条例施行
- ＜ 1979 年＞
- ・七生公会堂開館

1960
- ＜ 1963 年＞
- ・一番橋開通
- ・日野町、市制施行（全国で 559 番目）
- ・アメリカ、レッドランズ市と姉妹都市提携
- ・市章制定
- ＜ 1964 年＞
- ・京王線多摩動物公園駅開業
- ・明星大学開校
- ＜ 1965 年＞
- ・市立図書館開館
- ・字名が廃止に
- ・市民プール開設
- ＜ 1966 年＞
- ・都立日野高校開校
- ・中央公民館完成
- ・福祉センター完成
- ＜ 1967 年＞
- ・中央自動車道八王子 - 調布間開通

1950
- ＜ 1958 年＞
- ・日野町と七生村が合併して日野町となる
- ・多摩動物公園開園



自然

日野、なんかのどか

日野市には後世に残したい“美しい自然”がいっぱい。
多摩川・浅川から水を引く用水路が網の目のように流れ
まちを歩くと緑がそこかしこに。のどかっていいな！

市民の声
- 日野、なんか自然と水が豊富だ！
- The greenery of Hino City is beautiful !!
- 水に囲まれているまち
- トマトがおいしい

日野産野菜
季節の野菜を地産地消

住宅地の近くに畑や田んぼがある日野市は、農業が密接に関わる地域。小中学校の学校給食に使用されている日野産農産物の割合が約30%って知っていますか？ 直売所に限らず、スーパーでも日野産農産物が販売されているので、探して食べてみてください。

サイクリングロード
四季の移ろいを感じるサイクリングコース

水の都と評され、清流に恵まれる日野市には、市内に多くの用水路があり、その源である多摩川と浅川の川沿いにはそれぞれサイクリングロードを整備。春夏秋冬、四季を通じてさまざまな風景と出会えるので日野市民はもちろん、サイクリストにも人気。

田園風景に美しい水辺
日野市には自然がいっぱい

黒川清流公園
国土交通省「手づくり郷土賞」大賞を受賞

豊富な湧き水と雑木林の斜面地を利用した、緑と清流を満喫できる公園として人気。サラサラと流れる水辺では、夏の暑い時期には水遊びをする子どもたちの姿が絶えず、林内には散策路も。自然観察やどんぐり拾いを楽しみながらのんびり歩くのもおすすめ。

南平丘陵公園
自然観察や冒険にもってこい

多摩丘陵の地形と樹林をそのまま利用した公園で、起伏に富んだ地形の中に広場も整備。遊歩道には急な階段もあるけれど、自然観察や冒険にもってこい。園内には簡単な野外ステージがあり、コンサートや合唱の歌声が雑木林にこだまることも。

よそう森公園
田んぼも用水路もあるけれど、れっきとした公園

JR中央線日野駅から歩いて10分ほどにある「よそう森公園」は、日野の原風景を思い起こさせてくれる公園。周辺の田畑、東光寺崖線の自然風景、用水路には清流……夏になると水遊びをする子どもたちで公園は大賑わい。水田近くの東光寺小学校の児童たちが1年を通して米作りに挑戦中。

育み、ハグする

京王あそびの森 HUGHUG ＜ハグハグ＞

多彩に遊べる屋内施設

木育・体育・知育をコンセプトにした、国内有数の全天候型の大型遊戯施設。施設内には高さ約 12m・直径約 15m の日本最大級のネット遊具や、2 階フロア内を回るミニ SL、多摩産材を活用した大型遊具があり、親子で一緒に楽しめます。

開館時間　9:30 ～ 17:30（入館は 17:00 まで）
休館日　毎週水曜、1 月 1 日
入館料　大人 700 円
小人（6 ヵ月～小学生）
入館 30 分まで 600 円（以降 15 分ごとに 200 円）
所在地　程久保 3-36-60
TEL　042-591-8989

みんなで遊べる

日野中央公園

バリアフリーな公園

コンサートやいろいろなイベントなどに利用される屋外ステージと広場が特徴的な公園。雑木林の中の遊歩道を歩くと、四季の草花が楽しめます。性別、国籍、障害の有無などに関わらず、誰もが遊べるインクルーシブ遊具広場もオープン。

所在地　神明 2-13-2

ミニ電車もあるよ

京王れーるランド

鉄道の仕組みを学び・体験

子育てファミリーを中心にお楽しみいただける施設をコンセプトに、多摩動物公園駅前にオープンした鉄道展示施設です。運転体験や鉄道施設をイメージしたアスレチックコーナーのほか、屋外では車両の展示やミニ電車を設置しています。

開館時間　9:30 ～ 17:30（入館は 17:00 まで、ミュージアムショップは 9:30 ～ 17:15）
休館日　毎週水曜、1 月 1 日
入館料　310 円（3 歳以上）
所在地　程久保 3-36-39 ／ TEL　042-593-3526

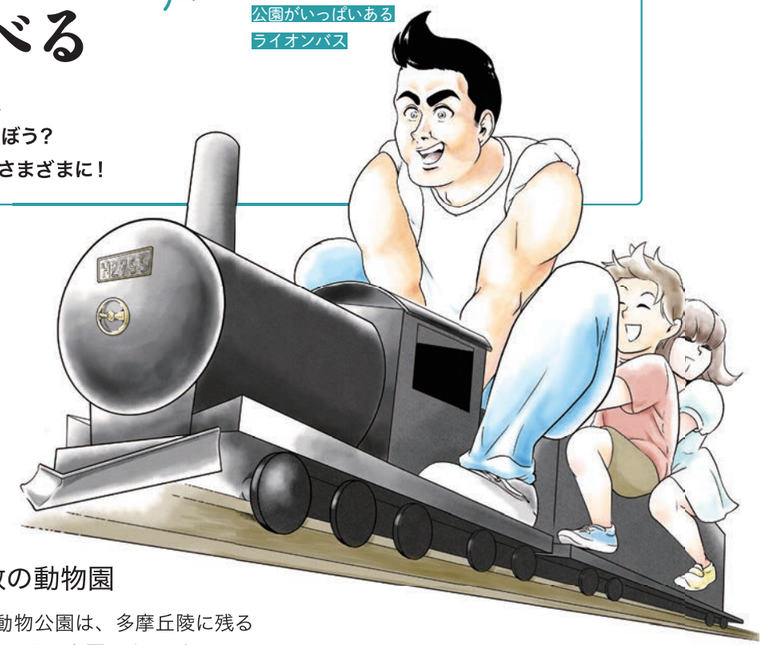
おでかけ

日野、なんかのんびり遊べる

家族と過ごす時間を大切にできるまち、
それが日野市！ 今度の休みは何して遊ぼう？
市内には家族の笑顔と出会える場所がさまざまに！

市民の声

- れーるランド、HUGHUG、多摩動物公園など楽しいところがいっぱい
- 遊べるところがたくさんある
- 公園がいっぱいある
- ライオンバス



多摩動物公園

動物と昆虫を展示する国内有数の動物園

約 50 ヘクタールの広大な敷地を誇る多摩動物公園は、多摩丘陵に残る自然を活かした動物園。園内はアジア園・アフリカ園・オーストラリア園と昆虫園の 4 エリアに分かれ、約 300 種の動物を飼育。野生で群れを作って暮らす動物は、なるべく群れで飼育展示するようにしています。

世界の動物と昆虫がのびのび暮らす

開館時間　9:30 ～ 17:00（入園は 16:00 まで）
休園日　毎週水曜、年末年始
入園料　一般 600 円、中学生 200 円、65 歳以上 300 円
所在地　程久保 7-1-1
TEL　042-591-1611

一日かけてのんびり遊べるのが日野市流

観光

市民の声

古いまちなみを感じる
新選組と高幡不動は絶対です
重要文化財がある！！
史跡がたくさん！

日野、なんか名所たくさん

歴史と出会える、四季の移ろいと出会える……。
暮らしのそばにさまざまな名所がある日野市には
歩くと出会える物語がたくさんあります！

高幡不動尊　　関東三大不動の一つ

真言宗智山派別格本山。京都智積院を総本山とする関東屈指の古刹であり、高幡不動尊として全国に広く知られています。関東三大不動の一つで、初詣から始まり、毎月 28 日の縁日、節分会、萬燈会などの行事が盛んです。また、境内四千数百坪と、隣接する山林を合わせて三万坪からなる敷地に織り成される四季を彩る自然と景観風情の中で、あじさいまつり、もみじまつりなどの催しも行われています。

所在地　高幡 733 ／ TEL　042-591-0032

小島善太郎記念館

日本洋画界 “ 重鎮 ” の作品を展示

1971 年に日野市百草に住居とアトリエを構え、晩年を過ごした洋画家・小島善太郎（1892-1984）。2013 年、ご遺族より住居アトリエと作品等が日野市に寄贈され、日野市立小島善太郎記念館「洋画家小島善太郎百草画荘」として一般に公開。生前の雰囲気を可能な限り残しつつ、晩年を中心とした作品約 30 点と遺品などを展示しています。

開館日　　毎週土曜、日曜、祝日（年末年始を除く）
開館時間　10:00 ～ 16:00（夏季は 17:00 まで）
入館料　　大人 300 円、小・中学生 100 円
所在地　　百草 776

百草園

四季の移ろいを感じられる庭園

「百草」は「もぐさ」と読み、梅の開花の時期には約 50 種 500 本もの梅の花に庭園が包まれます。季節がめぐるごとに藤、あじさい、と庭園は趣きを変え、もみじの季節には多摩丘陵の木々と色彩を競います。多摩丘陵の高台にあるこの地には、江戸近郊の名所として知られ、明治時代には若山牧水、徳富蘆花、そして日野宿本陣にもゆかりの深い文人である大田南畝も訪れています。

開園時間　9:00 ～ 17:00（11 月・12 月は 16:30 まで）
休園日　　毎週水曜、年末年始
入園料　　大人 500 円、小人 100 円
所在地　　百草 560 ／ TEL　042-591-3478

ふれあい橋

正式名は万願寺歩道橋

浅川に架かる美しい歩道橋で、周辺は憩いの場となっています。多くのテレビドラマの撮影が行われ、日野市の人気ロケ地に。冬の夕暮れ時には、富士山頂に太陽が重なるダイヤモンド富士を観ることができます。夏の時期は、涼しい風が吹きぬける橋下は親水スポットとして人気です。

日野宿本陣

新選組ゆかりの史跡

都内で唯一残る江戸時代に建てられた本陣建物。幕末に日野宿の問屋と日野本郷名主を務めていた佐藤彦五郎が本陣兼自宅として利用していました。彼が開いた剣術道場には近藤勇や沖田総司、山南敬助らが訪れていました。日野出身の土方歳三・井上源三郎らを交えた新選組と日野の人々との物語の幕はここから開かれました。

休館日　　月曜、年末年始
開館時間　9:30 ～ 17:00（入館は 16:30 まで）
入館料　　大人 200 円、小人 50 円
所在地　　日野本町 2-15-9
TEL　　042-583-5100

新たな文化・スポーツの選択肢

日野型地域文化スポーツ活動 ひのスポ！ひのカル！

子どもたちにとって文化スポーツを身近に

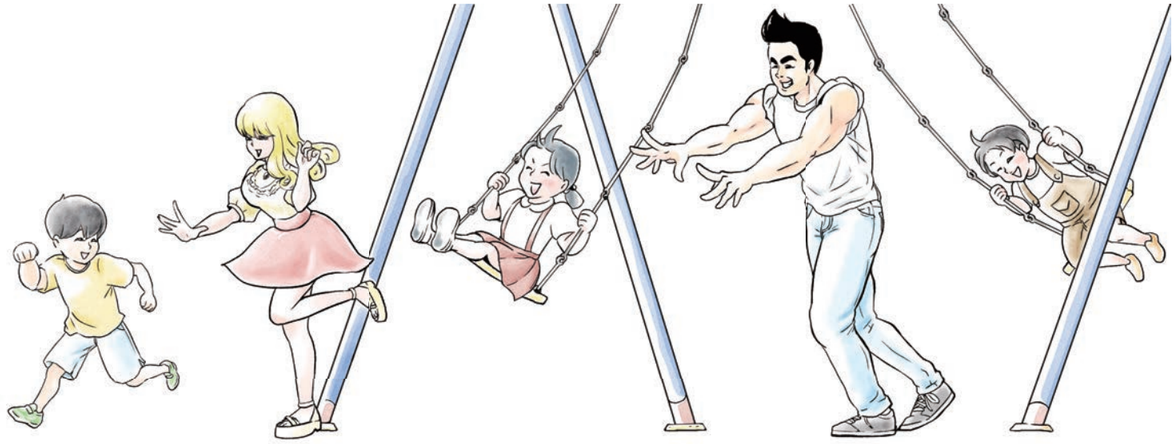
ひのスポ！ひのカル！は、子どもたちが主体的に文化・スポーツ体験できる環境を確保するため、産学官民が連携してつくる新しい文化・スポーツの選択肢です。学校体育施設を中心に、卓球やバスケットボール、ソフトテニス、けん玉などさまざまな種目を提供しています。

地産地消の先駆け

学校給食

小中９年間で教える「本物の味」

全校自校調理方式を採用し、栄養士のもと、だしやルーにもこだわるひと手間かけた、素材からの手作り給食を基本としています。旬の日野産農作物を積極的に活用し、学校給食を通じて小中９年間で子どもたちに本物の味を伝えています。



毎年多くの小学生が参加

ひのっ子シェフ コンテスト

「地域で子育て」をバックアップ

毎年多くの小学生が参加を希望する、公民館開催の人気の事業です。日野産の食材を活用したオリジナルメニューを子どもたち自身が考えて実際に調理。地域の大人が見守ることにより、大人も子どもも一緒に食育を学んでいます。

幼稚園、学童クラブへも

移動図書館 ひまわり号

本との楽しい出会いの時間を提供

ひまわり号は、車にたくさんの本を積んで人々のもとに本を届ける移動図書館。図書館を利用しにくい地域や、保育園、幼稚園、学童クラブなどへも訪れ、本との楽しい出会いの時間となるように、今日も走ります。

子育て

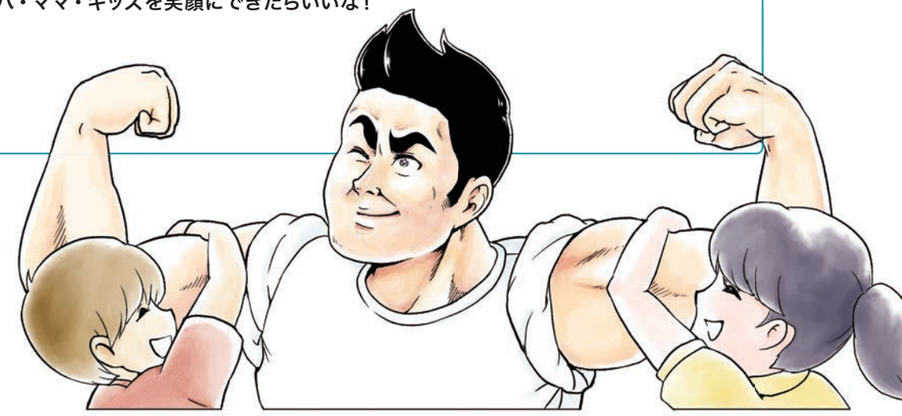
日野、なんか子ども想い

市民の声

笑顔がいっぱい
給食がおいしい
日野、自然がたくさん！！
優しさもたくさん！！
図書館サイコー！！！

「子どもが輝くまち」を掲げる日野市では、さまざまな子育て支援を実施してきました。悩めるパパ・ママ・キッズを笑顔にできたらいいな！

未来へのやさしさを誇りに、
誰もが安心して学び合い、
歩んでいけるまち



（仮称）子ども包括支援センター「みらいく」

子どもの健やかな成長を支援

すべての子どもの健やかな成長を切れ目なく支援する子ども・家庭・地域の子育て機能の総合支援拠点として、（仮称）子ども包括支援センター「みらいく」を建設中。令和６年度初め頃のオープンを目指しています。子育て関係部署の事務所機能に加え、子育てひろばや新たな機能である中高生世代用のスペース、新たに設置する子どもなんでも相談窓口を設けるなど、妊娠期から18歳まで切れ目ない支援を実現します。

愛称「みらいく」に込められた意味

①子どもの、“「未来」を支援する”
②“身（自分・Me）Like →自分を好きになる”
“自分のことが好きになる自信がもてる”ようになる
③“未来を育む”

日野市発達・教育支援センター「エール」

心を一つにして子どもたちを応援

平成 26 年、「エール」は子どもの健やかな成長を図ることを目的に設置されました。発達面や行動面、学校生活面において支援を必要とする０歳から 18 歳までの子どもや子どもの発育について不安のある家族に対し、福祉と教育が一体となった相談・支援を行っています。公募により決定された愛称「エール」には、「支援が必要な子どもや保護者等へ『心を一つにして応援する』」という意味が込められています。

放課後子ども教室「ひのっち」

安全安心な居場所づくり

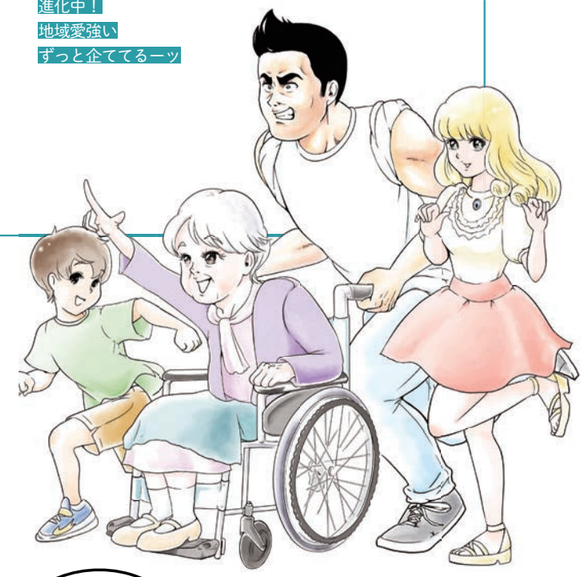
すべての児童の放課後における安全安心な居場所づくりとして、地域の方々の協力を得て、日野市が小学校施設を活用して実施している事業です。「ひのっち」の総合的な調整を担う「コーディネーター」のもと、放課後の学校内の教室、校庭、体育館などに子どもたちの見守りをする「ひのっちパートナー」を配置。「学習アドバイザー」を配置して、子どもたちに学び、スポーツ、文化活動や地域住民との交流活動等のプログラムを実施しています。

地域共創

日野、なんか見逃せない

市民の声

とても水がキレイで人が優しいまち
進化中！
地域愛強い
ずっと企ててるーッ



さまざまな主体が協働し、日野市に新たな価値が生まれています。ぜひ、日野の動きを見逃さず、一緒に日野をつくりましょう。

南平体育館 リニューアルオープン

令和４年４月に生まれ変わった南平体育館は、市内北部の市民の森ふれあいホールとならび、浅川以南のスポーツ拠点として、地域全体に活気と潤いを生み出す「まちなかアリーナ」として活用を図っていきます。

山崎悠麻選手
（パラバドミントン）

馬場咲希選手
（ゴルフ）

日野市、顕彰制度あり！

東京 2020 オリンピック・パラリンピックにおけるスポーツ熱の高まりを受け、オリンピック競技大会、パラリンピック競技大会、その他国際的なスポーツ大会で優秀な成績を収めた市民の栄誉を称える賞として、令和３年に「日野市民スポーツ栄誉賞」を創設しました。

目印は安全コアラ！「防災ガイドブック」

防災の備えに一家に一冊

日野市は多摩川、浅川の1級河川と多摩丘陵に囲まれた自然豊かな地域ですが、立川断層帯に位置し、地形的な特色によって地震に加え、風水害や土砂災害に備えておく必要があります。

日野市では令和４年3月に防災の備えとして必要な情報とハザードマップを1冊にまとめた防災ガイドブックを作成しました。

防災ガイドブックは、災害時の地域特性を確認しやすいように、洪水ハザードマップと土砂災害ハザードマップを一つにまとめました。また、市民一人ひとりが防災を日常的に意識できるように、防災メールやＬＩＮＥの登録・活用、非常持ち出し品の一覧や備蓄品等の日ごろからの備え、「災害時の避難行動をどうすればいいのか」分かりやすくまとめました。

安全コアラが目印の防災ガイドブックを身近に置いて、ぜひ家族や仲間で防災について話し合ってみてください。

新たな価値の創出へ 日野市の産業への取り組み

新たな価値の創出へ

多摩川と浅川が流れ沖積地（低地）が広がる日野市では、中世末期から用水が掘られ、江戸時代には多摩地域でも有数の稲作地帯になりました。また、明治10年代からは養蚕が盛んになり、明治30年代には耕地面積の20％を桑畑が占めるようになりました。

しかし、昭和初期のいわゆる「昭和恐慌」で穀物と繭の価格が大暴落し、日野の経済は大きなダメージを受けます。この危機を乗り越えるため、当時の日野町は大工場を誘致し、昭和11年頃から「日野五社」と呼ばれる吉田時計店（後のオリエント時計）、六桜社（現コニカミノルタ）、日野重工業（現日野自動車）、富士電機、神戸製鋼所東京研究所（後の神鋼電機）などが、桑畑が広がる日野台地を中心に進出。日野は内陸の工業都市として新たな歩みをはじめ、近年まで製造品出荷額が都内でも上位になるほど隆盛を誇っていました。

2015年4月には、多摩地域で初めて企業との公式な連携窓口「価値共創ポータル」を開設。同年10月には、新しい価値を共創するスペース「多摩平の森産業連携センターＰＩａｎＴ」を開設し、新たな産業の創出に取り組んできました。

2023年3月には、日野市の10年後の工業振興を見据えた「日野市工業振興計画」を策定しました。同計画では、基本的な考えや市の将来像に合致した実現性の高い工業振興策の体系的、計画的な推進・実行のための課題解決の方向性と主な取り組みを盛り込んでいます。

また、市内の大学では産学官による連携・マッチングの取り組みや、新たな事業を生み出す施設の充実なども図られています。

さらに、企業、大学、市民などさまざまなステークホルダーと共に生活課題を産業化するリビングラボの取り組みや各種企業・団体との協定締結など、諸力融合により新たな価値が生まれようとしています。

市内大学の取り組み

東京都立大学が産学公連携スペースを開設！

東京都立大学が産学公連携スペース「TMU Innovation Hub」を開設。本スペースを拠点として、東京都立大学の研究成果や研究機器共用センターなどのリソースを活用したスタートアップ創出や大学発スタートアップの支援を行う。多摩地域の大学・研究機関、自治体、金融機関、企業などの多様な機関と連携協力してスタートアップ･エコシステムを構築することにより、イノベーション創出を促進させ、多摩地域の振興を目指す。

ともに生きるまち 日野

障害のあるなしにかかわらず、誰もが尊重しあう共生社会

私たち一人ひとりは、かけがえのない存在であり、全ての市民は、平等に権利を持っています。多様性が認められ、さまざまな人が地域でともに生き、活躍できる社会は、全ての市民にとって暮らしやすい豊かな社会です。

障害のあるなしにかかわらず、ともに育ち、ともに学び、ともに働き、ともに暮らし、ともに尊重し、ともに支えあうことのできる社会こそが、私たちの目指すべき「ともに生きるまち 日野」です。

日野地域未来ビジョン2030

まちの未来は分厚い冊子ではなく、一人ひとりの中にある。こうした思いを着想の原点として、2023年3月31日に策定した日野地域未来ビジョン2030は、2030年に咲く花（こうなったらいいなという日野の理想）を描きながら、それぞれのヒノタネ（2030年に向けてのアクション）を育てあうことで、花がたくさん咲く地域を目指す参加型プロジェクト。これまでの長期計画とは異なり、新たな人が関わり続けることで少しずつ変化していくのが日野市流のビジョンづくりです。未来志向での地域づくり、始まっています！

まちを生きる人が未来をつくる

2030年はSDGsのゴールの年です。社会もまちも大きく変わっていきますが、そうした中でも日野を舞台にポジティブに暮らし、働く人が増えれば、未来の日野も自然とポジティブになっていくはず。そこで市は、2022年9月に市民や行政職員、日野市に縁のある人が参画して「ヒノタネプロジェクト」を始動。タウンミーティングやアンケート調査、取材・広報活動など、さまざまなアプローチをしていく中で第5次基本構想・基本計画の次の計画である「日野地域未来ビジョン2030」を構築しました。

ネーミングには「日野（という）地域（の）未来ビジョン」の思いが込められています。

スローガンは「しあわせのタネを育てあう日野」。立場や世代を超えて日野市に関わるすべての人と、未来の日野へ向かうための問いを分かちあい、共に考え続け〝タネ〟を育てあい、2030年の日野にたくさんの花を咲かせたいと、私たちは考えています。

2030年の日野に花を咲かせるために心に留めておきたい

5つの行動指針

未来ビジョンは、29の花、17の問い、5つの行動指針で構成されています。日野らしさを未来につないでいくための行動指針をご紹介します！

01 未知をおもしろがる

定義

未だ知らないことや人を知れる・学べる機会があり、愉しみながら新しい価値を創り出している。

日野で起こっていること

学びの場では年齢に関わらず学びを深めるために地域や社会との連携が進められており、SDGsをテーマとした取り組みも始まっています。

02 自分らしく働き続けられる

定義

長い人生の中でも自分らしく社会に関わり続けることができる。

日野で起こっていること

自分らしくビジネスを始めたい、アイデアを形にしたいという人たちの活動を後押しするビジネスプランコンテストやチャレンジショップなどの取り組みがあり、同じ思いを持った方たちによる新しいつながりが生まれています。

03 次の世代につなげる

定義

自分のしていることがその時々で形を変えながら続いている。

日野で起こっていること

ごみ改革によって市民のごみへの意識も高まっており、2021年度には同規模自治体における廃棄物量が全国で2番目に少ない自治体に。地域の中で、さまざまな子どもたちの受け皿として有志のコミュニティも生まれています。そういったコミュニティと思いのある個人や福祉団体、一部の企業などがつながり、地域全体で将来世代を育てていこうという動きがあります。

04 ごちゃまぜの場を増やす

定義

立場や世代の異なる人々が分け隔てなく混ざり合うことのできる“地域の交差点”とも言える場が増えていく。

日野で起こっていること

年齢や肩書きに縛られず気軽に参加でき、ゆるやかなつながりを持てるような場が求められています。障害の有無やジェンダー、認知症など無意識の偏見がある中で、分け隔てなく混ざり合うことが普通になる未来を目指した場づくりが行われています。

05 自分たちでつくる

定義

必要なものは自分たちでつくり、共感する人を徐々に増やしていく。

日野で起こっていること

理想のライフスタイルを実現するためにスキルや知識を生かし、チャレンジをしている人が増えています。地域それぞれに助け合いの仕組みがあり、市民相互のお互いさまという気持ちが循環していくことを目指した取り組みが行われています。

東京都日野市 note

日野市で自分のため、誰かのため、まちのために何かしようとする人の想いやストーリーを紹介します。ぜひご一読ください。

READ!!

※QRコードは株デンソーウェーブの登録商標です。

01 未知をおもしろがる　02 自分らしく働き続けられる　03 次の世代につなげる　04 ごちゃまぜの場を増やす　05 自分たちでつくる

市民 VOICE めぐり

自分のペースで叶えた夢

絵 本に魅力を感じたのは子育てがきっかけです。子どもに絵本を読み聞かせているうちに絵の細部に描かれているものや物語の根底に流れる深い想いに魅力を感じるようになりました。

絵本の魅力を多くの人に伝えたいという気持ちがあったものの、当時は子育てと家族の介護をしていたこともあり、その夢をすぐに叶えることはできませんでした。

そんなある日、吉祥寺にあるブックマンションの募集の広告を見つけ、少しずつでもできることからやってみようと思い、棚一つ分の小さな本屋の店主になり、次第に自分の世界観を表したようなお店が欲しいという想いが強くなり、2020年に南平に自分の店をオープンさせました。

子育ても介護も大切なこと。この2つの経験を通して多くの学びを得ました。これからは、私の経験を活かして、お店を訪れる方の夢を応援したいと思っています。絵本を読みながら、お店に訪れた多くの方が夢を描くきっかけの場所、居場所になったら嬉しいです。

毎月、第1土曜と第3土曜に「大人の絵本読み合い会」を開催している「南と華堂」。店内には地域情報発信スペースも

できることから少しずつ始めて、絵本の店を開業。みんなの居場所になったら嬉しいです

南と華堂
井上優子さん

南平で絵本中心の本屋を営む井上さん。モットーは思い出に残る絵本選びのお手伝い。店内には厳選した絵本が所狭しと並び、2022年からは棚貸しも始める。

大変さよりも楽しさが勝る

現 在の仕事に就いた当初は、障害のある方の相談支援が初めてで何をしたら良いか分かりませんでした。利用者の皆さんと、日々接していく中でこちらの少しの気づかいでも喜んでくれる姿を見て、仕事の楽しさや、やりがいを感じるようになってきました。

また、最初は気難しかった方が、次第に関係が打ち解けて気さくに話してくれるようになったり、屈託のない笑顔を見せてくれるようになると嬉しいです。困っている人の手助けをする仕事だからこその喜びかもしれませんね。自分自身が楽しく働いていれば、周りの人も「福祉の仕事って楽しいのかな？やってみようかな？」と思ってくれる、そんな風に感じています。

現在、日野市独自の移動支援従事者事業で福祉人材育成のために大学生などにアルバイトとして働いてもらっています。彼ら彼女らが現場で多くのことを学び、将来的に福祉関係の仕事に就いてくれたとしたら、とても嬉しいですね。

最初の頃、「利用者さんのことを“障害者＝大変な人”とひとくくりに考え、一個人として向き合えていなかった」と話す天沼さん

福祉の仕事のやりがいや楽しさを自分自身の日々の仕事を通して伝えていきたいです

なごみ在宅
介護サービス日野
天沼暢浩さん

旅行代理店、高齢福祉の仕事を経て、現在の障害福祉の仕事に就いた天沼さん。日野市内で主に障害者の相談支援、移動支援を行っている。

一歩前に踏み出す、日野市で活動中の皆さんの想いとは？

舞台は日野市。今、しあわせのタネを育むために、自分にできることって何だろう？
こんな想いを持ち、自分らしいアクションに挑戦中の９人に話を聞きました。

一生ものの家具づくり

01 **都** 心の百貨店の内装職人、無垢材家具の会社を経て、ご縁があった方から跡継ぎがいない工房を譲り受け、2020年1月にTIDAFIKAをオープンしました。

02 一国一城の主として、こだわろうと決めたのは、生涯をともに過ごせる家具づくり。約20年間、ものづくりと向き合ってきたので腕には覚えがありましたが、開業後すぐにコロナ禍に突入し、生計を立てるために必死でした。

そんなころ、日野市創業セミナーをサイトで見つけて応募したんです。そこで出会った何名かの方から家具を注文したいというお話をいただき、少しずつ市内事業者の方に知ってもらい、生活できるようになりました。初心は今も変わりません。自分と同じような志を持ち、悩みを共有することもできたので日野市で活動している人たちと出会え、本当に良かったです。

01 TIDAFIKAのことを“まちの家具屋さん”と呼んでもらえるよう、一期一会の出会いを大切にして過ごしていきたいですね。

日野の原風景が残る上田地区にある同店。工房兼ギャラリーには無垢材のテーブルや椅子、小さなインテリアまでが並ぶ

家具も人とのつながりも一生ものだと思っています。毎日を丁寧に過ごしていきたい

TIDAFIKA
吉村悟さん

日野市で唯一のオーダーメイド家具工房「TIDAFIKA」の店主・吉村さん。大手家具工場で腕を磨いた確かな技術で、生涯をともに過ごせる家具づくりに尽力中。

自然を通して人がつながる

倉 沢里山を愛する会では、日野市最後の里山と言われる倉沢里山の維持・管理活動をしています。豊かな里山を守りながら、人とのつながりも大切にしています。有志で集まる200人を超える会員の皆さんは、草刈りや落ち葉掃きなど林の維持や稀少な動植物の保護活動に汗を流しています。

03 貴重な自然を次世代につなげたい。この想いを持って活動中です。

会としての活動が終わると、そのままアウトドアで食事会となり、手製の椅子に座りながら皆さん思い思いに満喫し、絆を深めています。会員の皆さんは地元の方々が中心で、さまざまな出自の方が集っているので新しい形の地域コミュニティになっていると思います。こうした形でも地域貢献できているとすれば、私たちは喜ばしい限りです。

03 10年後も皆さんとおしゃべりしながら楽しく自然を守り、生かしていきたいです。自分たちが持っている植物の知識を若い世代にも伝えていき、この里山を別の形で守っていきたいです。

会長の田村さんと副会長の伊東さん。「会が発足して20年以上経ちました。もともとは８人から活動を始めたんです」と両氏

里山の豊かな自然を守りながら、次の世代の人たちにこの活動をつなげていきたいです

倉沢里山を愛する会
右：伊東晴雄さん
左：田村はる子さん

緑を守り楽しみながら活動する。こんなモットーを掲げ、現在、倉沢里山を愛する会は200人以上の会員で活動中。日々、動植物の保護活動に汗を流している。

市民 VOICE めぐり

人生は一度きりだから挑戦

01
海外旅行中、心が通じ合えたと感じると嬉しいですよね。外国人と深く交流してみたいと思い、オンライン英会話レッスンを受けたところ、その先生がたまたま私の家の近くに引っ越してきて仲良くなれたんです。その先生と公私共に親しくなっていく中で外国の方に関われるような仕事をしたいと強く思うようになり、来日した外国人に日本語を教える日本語教師を目指そうと決意しました。

02
当時、子どもは1歳。子育てをしながら日本語教育能力検定試験の勉強を独学で始めました。合格がゴールではなく、日本語教師になるためのステップと考えることで、日本語教育への理解を深めることが楽しいと感じられました。

その甲斐あって試験に合格。現在は日本語教室のボランティアとして日本語を教えるとともに、外国人の生活の心配ごとや文化の違いで悩んでいることなど、話し合いの場をつくるようにしています。いつか個人でオンラインの日本語教室を開きたいですね。

「外国の方が、どうしたら自信を持って日本語を話すことができるようになるかを考え、教え方を勉強中です」と鈴木さん

挑戦する姿を子どもに見せ、挑戦する大切さや楽しさを分かってもらえたら嬉しいです

日野市国際交流協会で外国人向け日本語教室のボランティアをする鈴木さん。2021年には子育てに奔走しながら独学で学び、日本語教育能力検定試験に合格。

日本語ボランティア
鈴木妃香理さん

セカンドライフを満喫中

01
60歳で定年退職した後、「田んぼの学校」の活動を始めました。今の活動をするまでは趣味のゴルフばかりしていたんですが、なんとなく退屈だったんです。

もともと実家が農家で幼いころ、親の仕事の手伝いをしていたので「またやってみよう！」と思い畑を探していたところ、農家の手伝いを求めている方とたまたま出会い、そこで農作業を始めることになりました。数十年ぶりの農作業は最初は不安でしたが、いざやってみると自然と手が動いてスラスラできたんです。その後、だんだん「尾形は使えるよ」と地域で広まり、いろいろなところから声をかけられるようになりました。

02
現在は市内小学校の田植え体験や「田んぼの学校」の指導をしています。自分がこうしたいなと思うと、できないものを自分で勉強したり、自分がつながっている人にやってもらっています。最近、田んぼの案山子（かかし）づくりをしました。

05
おかげさまでいろいろな活動をさせてもらえ、忙しいけれど今が人生の中で一番楽しいです。

わらを使った正月飾りを作るイベントで講師として参加した尾形さん。田植え体験の指導など、その活動は多岐にわたる

いろいろな活動のおかげで、地域の方々とのつながりが育まれ、今が一番楽しいです

日野市の事業である「田んぼの学校」で、日野市に残された数少ない田んぼで稲作指導をしている尾形さん。現在 75 歳、60 歳で定年退職した後に活動を始める。

田んぼの学校
尾形重男さん

在日外国人を多方面で支援

中国から日本に来て、日野市で暮らし始めたのは2010年。夫は日本人で彼とは中国で出会って結婚し、現在2人の子どもがいます。

来日時に日本語能力試験2級を持っていたので日本語はある程度理解できましたが、日本のマナーやルールを理解できず孤独を感じるようになってしまったんです。

そんなころ、友だちをつくりたいという思いから日本語教室に通い始め、ボランティアの先生方から生活のアドバイスを受け、次第に悩んでいる外国人の手助けをしてあげたいと思うようになりました。

01
国際交流協会の日本語教室のボランティアから始め、ひょんなことからお誘いを受け、日野市発行の冊子の翻訳、外国人の生活相談、外国人の児童・生徒の授業支援など、さまざまなボランティアに挑戦しています。最近は防災案内冊子の編集や翻訳もしています。

02
今後もずっと、日本で不安を感じている外国人の力になれるようなことをしていきたいですね。

「自分のためではなく、周りの人のために生きたい」と話す陳さん。日々、精力的にボランティア活動を行っている

お金を稼ぐことよりも、誰かに必要とされていることの方が私にとっては大切です

国際交流協会の日本語教室のボランティア、日野市発行の冊子の翻訳、外国人の生活相談、小中学校での外国人の児童・生徒の授業支援など活動は多岐にわたる。

外国人支援ボランティア
陳家翠さん

食と音楽と人で豊かに

02
食と音楽、その中心に人の笑顔があれば、人生は豊かになる。こんな想いをカタチにしようと思い、2021年11月にタルタル食堂をオープンしました。店の看板のタルタルソースは、バンド仲間が京都で営む人気店の秘蔵レシピを受け継いでいます。

店を構えたのは日野台。生まれ育ったまちで地域密着型の店をつくりたいと思い、祖父の代から経営していた町工場を改装し、解体作業なども含めて自ら率先して手を動かしました。やりたいと思ったら、じっとしていられない性格なんです。開業にあたって日野市にもお世話になりました。

長年ミュージシャンとしてバンド活動をしているので、その人脈を活かし、「タルタル食堂」ではアコースティックライブやイベントも不定期に開催。昔から人の笑顔で溢れる空間が好きなんです。

04
まちの皆んなが集まれるコミュニティスペースのような存在になれたら嬉しいな。ギター教室だったり、囲碁将棋クラブだったり、アイデアはたくさんあるんです。

01 未知をおもしろがる
02 自分らしく働き続けられる
03 次の世代につなげる
04 ごちゃまぜの場を増やす
05 自分たちでつくる

祖父の代から経営していた町工場を改装し、タルタル食堂をオープンさせた田井さん。ランチ、ディナー共に近隣住人を中心に多くが集う

食と音楽を通し、まちのコミュニティスペースのような存在になれたら嬉しいです

日野台でタルタルソースをメインにした創作料理店を営む田井さん。ミュージシャンとしても活動する人脈を活かし、店内ではアコースティックライブも開催中。

タルタル食堂
田井信明さん

日野のチャレンジ

01 日野市民憲章

昭和 58 年 1 月 1 日制定

わたくしたち日野市民は、多摩川・浅川につづく平野と丘陵の自然環境に恵まれたこのまちを、生活の中のふるさとと考え、みんなのしあわせのためにこの市民憲章を定めます。

1　元気に働き　いきいきとして
　心ゆたかなまちをつくりましょう

1　手をつなぎ　ともに健康で
　明るいまちをつくりましょう

1　自然を守り　緑と清流と太陽の
　美しいまちをつくりましょう

1　人を大切にし　弱い人にも子どもにも
　思いやりのあるまちをつくりましょう

1　文をつちかい　うるおいのある
　平和なまちをつくりましょう

02 SDGs 未来都市 日野

令和元年 7 月 1 日選定

03 日野市プラスチック・スマート宣言

令和 2 年 12 月 11 日発出

より持続可能な社会を実現するために。諸力融合でプラスチックごみゼロを

1　**使い捨てプラスチックの削減及び再資源化**

日常生活でペットボトルなどの
使い捨てプラスチックの使用を控えます。

日常生活でマイボトル、マイバッグ、マイストローの
利用を促進します。

市の会議やイベントにおけるプラスチック製品の配布を
原則として禁止し、代替品を活用します。

2　**機運の醸成、意識の変革、行動変容のための啓発活動**

市民、事業所等への協力を呼びかけます。

使い捨てプラスチックを使用しない事業所等を支援します。

04 日野市気候非常事態宣言

令和 4 年 11 月 6 日発出

ゼロカーボンシティＨＩＮＯ 持続可能な未来を実現します

今、私たちが暮らす地球は、温暖化により気候変動の深刻な影響を受け、すべての生き物の生息環境として危機的な状況にあります。日野市は、2050 年二酸化炭素排出量実質ゼロを目指して、持続可能な未来を実現するために、以下の取り組みを行います。

1　あらゆる機会を利用し、気候危機が非常事態といえる段階にまで
　達していることを広く知らせ、認識の共有を図ります

2　二酸化炭素に代表される温室効果ガスの排出量削減を加速化するため、
　市所有施設における再生可能エネルギー等の積極的な導入・活用を推進します

3　気候変動について市民・地域で学び考える機会を設け、
　諸力融合によって地球温暖化阻止の対策へ挑みます

05 男女共同参画都市宣言

平成 10 年 9 月 28 日議決

わたしたちのまち日野市は
一人ひとりが男女平等のもとに互いの個性と能力を尊重し
豊かに暮らせる社会をめざしてここに男女共同参画都市を宣言します

1　互いに地域で支え合う
　安心して暮らせるまちをめざします

1　家事・育児・介護・仕事を分かち合う
　共同参画のまちをめざします

1　互いの生き方を理解し合う
　自立と共生のまちをめざします

1　互いの人権を認め合う
　やさしい平和なまちをめざします

06 日野市高齢者憲章

平成 29 年 1 月 1 日制定

わたくしたち日野市民は、日野市民憲章の趣旨を大切にしたまちづくりを進めて参ります。高齢化が進む中、意欲と経験のある高齢者は、社会の大切な担い手として活躍し、支えの必要な高齢者は、周囲の人々や社会がしっかり支え、全ての高齢者がいつまでも健康で明るく幸せにくらしていけることを願って、この高齢者憲章を定めます。

1　全ての市民は、長く社会につとめた先輩として、高齢者を敬愛します。

2　高齢者は、家族及び地域や社会の一員として、共に支え合います。

3　高齢者は、家族及び地域や社会により、健康と明るいくらしが守られます。

4　高齢者は、知識と能力を活かして社会で活躍し、知恵や経験を次の世代に伝えます。

5　高齢者には、健康維持と生きがいをつくるため、社会参加の道が開かれます。

07 日野市核兵器廃絶・平和都市宣言

昭和 57 年 10 月 8 日議決

巨大な量の核兵器は、米ソ両国の戦略兵器制限交渉などをもってしても、もはやその拡大は止められない事態となっている。ひとたび核兵器が使用されることになれば、その結果は全人類とその文明の滅亡であることはいうまでもない。日野市は、核兵器が地球上から姿を消す日まで、その廃絶を叫び、平和が市民生活の基本であるとの理念のもとに、ここに日野市が核兵器廃絶・平和都市であることを宣言する。

08 日野市歌

昭和58年1月1日制定

作詞・作曲　日野市中学校教育研究会音楽部会

1　みどりの街を　わが日野と
　ほこれる胸の　豊かさよ
　恵みの幸を　踏みしめて
　あしたに生きる　日野のわれら

2　平和を思う　ひとびとの
　確かな声は　満ち満ちて
　心にかよう　ぬくもりを
　手と手でつなぐ　日野のわれら

3　脈打つ多摩の　水音に
　想い出たどる　なつかしさ
　流れが清く　あるように
　願いは同じ　日野のわれら

日野市市制施行 60 周年記念クラウドファンディング

寄附者一覧

	白井　英登		齊藤　久美子	土方　鳳叶	
	伊藤　正		石丸　貴士	千葉　翔太	
	柴田　泰晴		丸　理恵子	石井　美由紀	
	ユーコー電子工業（有）		丸　みちる	石井　信義	
桑田　優	川村　桂子		植松　榮	小池　清浩	
丸山　隼人	桑田　弘		植松　かおる	柳原　恵	
日向　恵美	石川　みゆき		加藤　雅典	古澤　翼	
中島　将平	木村　昌弘		加藤　瞳	池田　潤一郎	
村上　由樹	孫田　明忠		加藤　朱莉	羽生　謙五	
川上　朋子	石丸　嗣納		加藤　紗奈	（敬称略）	
須崎　晶子	石丸　恵実		加藤　航太		

ご協力ありがとうございました。